

### 第3回国有林モニターアンケートの結果

#### 1. 国有林のイメージについて

平成 26 年 4 月から登録されている現在の国有林モニターの方々に対し、毎月、広報誌「関東の森林から」や「FOREST 通信」などの情報発信によって、国有林に対するイメージにどのような変化があったのか、伺いました。

結果、国有林モニターになる以前は、大多数の方々が、国有林のイメージは漠然としてよく分からなかったが、情報発信を受け、国有林をはじめ、森林・林業等について理解を深めることができたというものでした。

また、国有林野事業について、もっとアピールをすべきという御意見もいただいております。

以下は抜粋した意見です。

(国有林モニターになれる以前のイメージ → 後のイメージ)

変わった・・・44 / 47 名      変わらない・・・4 / 47 名      (1 名の方が両方を選択)

##### (1) イメージが変わった方の意見

- ・国有林という言葉は聞いたことがあったが、国有林の規模や場所、活用などの知識は全くなかった。

- 毎月の通信、資料などを読むことにより、国有林や林業などの取組、未来への森林の充実を目指しての運営や整備などの事業が分かった。

- ・昭和 40 年代の営林署と呼ばれていた時代は色々の人が見えていた。近年ではそのような人もおらず、国有林内には立入禁止の印象しかなく、国は何をしているのだろうかと思っていた。

- 広報誌等を読む中で色々と活動状況が判り、国土の保全に寄与していると思った。

- ・どのような活動をしているのかわからず、地味なイメージを持っていた。

- 真面目に取り組んでいることを知った。また、時代にあった活動をしていることも分かった。国民にもっと活動内容を知ってもらえたらなお良いのにも思った。

- ・主に、木材等を供給する為の森林育成等が中心だと思っていた。

- 多様化している動植物等の保全や土砂崩れや水害等の予防と防止等に役立っていること等、送付されてくる資料等で勉強等ができ、国有林等に対するイメージが変わった。

- ・山奥深く原生林、特に巨木があり、また動物も居て自然の宝庫といったイメージ。

- 樹齢何百年という樹もあるので、自然のままが一番よいと考えていたが、間伐等手を加えることでより森を守れることを知った。また、森を守ることで下流の海にまで良い環境が及び、ますます森を守ることの大切さを考えるようになった。

(2) イメージが変わらなかった方の意見

- ・情報量が圧倒的に少なく不明な部分が多い。

→国民全体の関心が薄いと思う。地方、地域のイベント活動などで、国有林野事業のアピールをもっと多くすべきと思う。

- ・日本の自然、動植物を守るために必要な森林。川や海を清浄に保つためにも大切な存在。光合成によって酸素も供給。

→上記の事の他に、森林の活用があることを知った。以前より増して、木材製品を購入するようになった（もう少し安価になってほしい！）。もっと木造の建物が増えると良いと思った。

- ・国有林は適切に手入れがされている森。

→ちょっと固いイメージはそのまま。

## 2. 平成 27 年度関東森林管理局の重点取組事項について

関東森林管理局が今年度に重点的に取り組む事項について、興味がある事項や内容を詳しく知りたい事項、内容がよく分からない事項について調査し、あわせてご意見・ご要望も伺いました。

結果、最も回答数が多かった事項は、興味がある事項等では「生物多様性の保全」、内容がよく分からなかった事項では「林産物の安定供給」でした。また、それぞれの事項について、様々なご意見等をいただきました。

以下、アンケート結果と抜粋した意見です。

重点取組事項	興味がある事項 ・内容を詳しく 知りたい事項	内容がよく分 からない事項
1. 公益重視の管理経営の一層の推進	—	—
① 計画的な森林整備	12名	2名
② 治山対策の推進	8名	4名
③ 生物多様性の保全	18名	5名
2. 森林・林業再生に向けた貢献	—	—
① 民有林と連携した森林整備等の推進	7名	5名
② 人材や情報について連携強化	2名	5名
③ 林業の低コスト化と民有林への普及・定着	14名	6名
④ 林産物の安定供給	4名	8名
3. 東日本大震災からの復旧・復興への貢献	13名	5名
4. 「国民の森林」としての管理経営	7名	6名

※複数回答（1名2項目まで）でアンケート調査を実施しています。

### (1) 各々の事項に対するご意見・ご要望（ご意見等をいただいた人数）

#### ア. 計画的な森林整備（5名）

- ・「森林吸収源対策」の目的、施策、取組地域、効果などとは何か。森林整備事業との施策的な関連はどうか。
- ・花粉発生源対策の加速化を重点的に取り組んでいただきたい。

#### イ. 治山対策の推進（3名）

- ・治山対策の推進は大変重要なことであり、予算に限りがあると思うが積極的な取組が必要。
- ・工事資材に間伐材の利用があるが、更なる推進をしてゆくことが必要。

#### ウ. 生物多様性の保全（7名）

- ・地元の山梨や富士山麓ではシカが増えている。1頭撃って7,000円など、民間猟師が頑張っているが、猟銃免許をもつ人が増えるとよい。車でシカをはねたとか結構聞く。
- ・私の住んでいる地域では、夏はアユ、秋はサケの遡上でも有名なところで、これ

からアユシーズンに入り関東あたりからも多くの釣り人が訪れる。でも年々漁獲量が減ったのではないかと思われ、その原因は水質の変化ではないかと思われる。昔のように上流まで魚が来ることを願っている。

- ・野生鳥獣との共生に向けた取組や、世界遺産地域の保全、管理等について興味があり、具体例など、機会があれば毎月の通信の中でご紹介いただきたい。

#### エ. 民有林と連携した森林整備等の推進（2名）

- ・民間と一体となって取り組むことは良いことだと思う。

#### オ. 人材や情報について連携強化（5名）

- ・人材の育成をどんどんやってほしい。山がどんどん（民有林）すたれていって感が強くなっている。手入れする人もなく、立ち枯れなどが目立っている。
- ・木材利用の推進をさらに進めていただきたい。

#### カ. 林業の低コスト化と民有林への普及・定着（3名）

- ・低コスト化について詳しく知りたい。どのような機械を使用し、手順についてもわかり易く説明してほしい。

#### キ. 林産物の安定供給（3名）

- ・昭和40年代に育てた人工林が、今や成熟し建材としての樹齢になっているが、それらの伐出、作業道、製材、用途、森林組合などの事業者等が将来的に継続して展開できるのか、それらの施策を知りたい。

#### ク. 東日本大震災からの復旧・復興への貢献（9名）

- ・未来に向けてとても重要な課題であり、森林の除染、海岸防災林等の復旧・再生は短期間でできるものではなく、長いスパンで考え、長期の計画が必要。未来の子供が安心・安全に日本で暮らしていけるように取り組んでもらいたい。
- ・東日本大震災からの復旧・復興への貢献対策に積極的な取組を継続することが必要。
- ・更に詳しい情報を知りたい。

#### ケ. 「国民の森林」としての管理経営（3名）

- ・もっと広く国民にPRした方がよい。